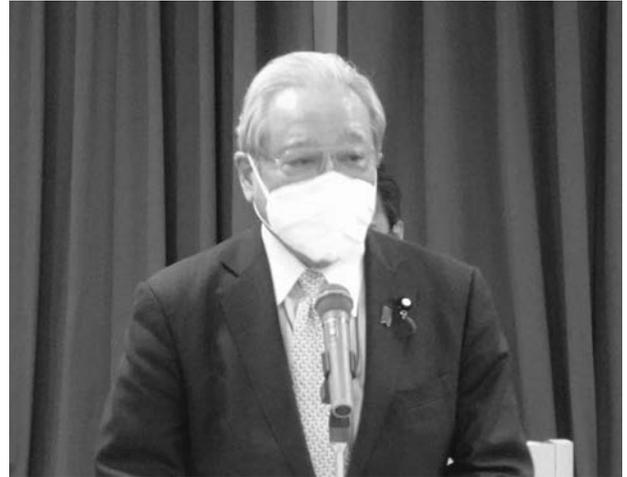


- ◆令和5年度事業計画・予算等を報告。
- ◆次年度から卒後5年の会費減免を承認。

◇総務部◇



松家会長の挨拶



羽生田厚生労働副大臣の来賓挨拶



鈴木知事の来賓挨拶



Web併用全体風景

第163回臨時代議員会を去る3月12日（日）午前10時、Web会議 [Zoomミーティング] 併用にて当会館の他、全道の代議員を結ぶ形で開催した。

冒頭、井門副議長の進行により、議事録署名人の指名の後、会長挨拶、来賓挨拶の後、議案審議に入り、議案第1号「令和4年度会費減免および会費減免の延長（卒後5年）に関する件」については、理事者提案のとおり承認された。

その後、令和5年度事業計画、令和5年度予算の報告の後、議案第2号「当面の医療政策に関する件」につき荒木常任理事から詳細な説明がなされた後、

本代議員会の名において決議文を作成したい旨の提案がなされ起草委員会に審議を付託することが了承された。

次に、代表質問ならびに一般質問を受け、理事者からそれぞれ答弁を行った。

## ◇代表質問◇

## 1. 上埜 博史 代議員（中央ブロック）

「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策について」

（答弁者：橋本常任理事）

◇一般質問◇

1. 近 祐次郎 代議員 (札幌市)

「電子処方箋について」

(答弁者：橋本常任理事)

2. 濱松 千秋 代議員 (札幌市)

「集団的個別指導の選定基準について」

(答弁者：伊藤常任理事)

3. 橋本 茂樹 代議員 (札幌市)

「地域リハビリテーション広域支援センターの再指定について」

(答弁者：菅田常任理事)

4. 立花 啓 代議員 (札幌市)

「かかりつけ医機能報告制度について」

(答弁者：笹本常任理事)

質問終了後、各ブロックの起草委員につき議長から指名の後、別室およびZoom会議ブレイクアウトルームにて起草委員会が開催された。

その後、起草委員会で検討した決議案（別掲）を採択した（この決議文は日本・都府県・郡市医師会、政府閣僚、政党、国会・道議会議員、知事、道内自治体首長、「日本の医療を守る道民協議会」構成団体およびマスコミほか関係各方面に送付し、各項目の実現に向けて要請した）。

最後に、松家会長より閉会の挨拶が行われ本代議員会の全日程を終了した。

〈事業計画・予算関係、質疑応答等は、順次当会ホームページに掲載予定〉

## 決 議

岸田首相は、物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策をまとめ、「新しい資本主義」を加速させ、国民の安全・安心の確保を図るとしている。しかし、その中に社会保障への言及はほとんど見られない。国民の健康なくして健全な国家は成り立たない。経済の活性化のためには、その第一歩として社会保障の充実に大胆に舵を切ることが必要である。そして、国民の健康増進へ向けた十分な社会保障の財源を確保することを求める。

本道では、将来の人口構成や医療需要の変化が予測される中、第8次医療計画の策定が進められている。また、医師の働き方改革の施行まで1年余りに迫っている。そして、感染症との戦いの出口も未だ見えていない。いずれの課題も、地域医療の当事者の声を十分に聴きながら丁寧に議論を進め、医療提供側と地域住民がともに安心できる医療体制を構築することが重要である。我々医師は一致団結して全力を尽くす決意である。

その実現のため、以下の事項を強く要望する。

- 一、 世界に誇る国民皆保険を堅持すること。
- 一、 社会保障の財源を十分に確保すること。
- 一、 控除対象外消費税問題の抜本的解決を行うこと。
- 一、 第8次医療計画の策定にあたっては、当事者の声を丁寧に聴いた上で、皆が安心できる内容とすること。
- 一、 医師の働き方改革は、医師の健康と地域医療がともに守られるものであること。
- 一、 メディカルウイング（患者搬送固定翼機）の運用にあたっては、社会的ニーズに対応可能なように適用範囲を拡大すること。
- 一、 災害発生時や新興・再興感染症の流行時は、適切な医療提供体制が維持できるような医療機関に対し十分な支援を行うこと。
- 一、 北海道の次代を担う若い世代が、希望をもって医師を目指すことができるよう地域医療体制および医師のキャリア形成の仕組みを充実すること。
- 一、 医療DXの推進においては、利便性や効率の追求のみならず医療提供者と患者の双方に不利益や過度の負担が生じないよう、十分に配慮すること。

令和5年3月12日

一般社団法人北海道医師会  
第163回臨時代議員会